

田原本町立東小学校 学校だより

—明るく、楽しく、元気な学校—



「ひがしっ子」
・ひとにやさしい子
・がんばって学ぶ子
・しなやかでたくましい子

「ヒロシマに学ぶ」を全員が行いました！

朝夕の冷たさと日の短さに、冬の到来を感じます。そして、早いもので、もう立冬を迎えました。今月、10日・11日に6年生が広島・宮島方面への修学旅行を実施しました。まず、子どもたち全員が参加できたことに、大きな喜びを感じました。校内で、風邪気味の子どもが増えてきていましたから、ずいぶんと気をもみました。

広島では、ヒロシマピースボランティアのガイド、檜原さんのお話をお聞きしました。子どもたちは、これまでに修学旅行に向けて調べ学習を積み上げてきました。しかし、実際に現地に立ち、資料館に遺されたものを目の当たりにし、お話を聞くことで、さらに学びを深めてくれたことが、真剣な表情から伺われました。檜原さんは、学生時代に初めて広島を訪れ、被爆者の方のお話を伺ったのがきっかけで、その思いを伝えたいとこの活動を始められたそうです。子どもたちも、平和への願いを受け止め、東小のみんなに伝えたいと感じてくれたことと思います。また、平和公園では、学校のみんに折ってもらった鶴を捧げ、平和への誓いを新たにしました。

世界文化遺産に登録されている宮島では、厳島神社の荘厳さとお買い物を楽しみました。旅行の最初に、「学校を代表して行くのだという気持ちも忘れずに」とお話をしましたが、終始、子どもたちは最高学年にふさわしい、仲間への優しさや協力する姿を見せてくれました。お天気にも恵まれ、よい思い出ができた修学旅行でした。保護



平和の子の像に捧げた、折鶴で表した「未来」

者の皆様の御協力に改めて感謝申し上げます。

心をつなぐ集会で、大切なことを学びました！

22日の「心をつなぐ集会」では、6年生が平和をテーマにした発表を行いました。特に、全校児童から預かった千羽鶴を携えて広島を訪れた修学旅行での体験をプロジェクターを使って発表しました。戦争の悲惨さと平和と命の大切さを確認しました。そして、学校を挙げて、一人一人の命はかけがえのない命であること、大きな平和を守っていくためには、まず身の周りの小さな平和の実現が大事であること、まず学級を平和にする必要があることを語りかけてくれました。その呼びかけにこたえ、その後は、各学級でどのようにしていけばよいのかについて具体的に話し合われました。本校が、「明るく、楽しく、元気な学校」であるために、とても大切なことを学ぶことができた集会になりました。素晴らしい修学旅行のお土産です。



みんなにできることは何か、と問いかける6年生

毎日のかけ足をがんばっています！ マラソン大会は11/30（土）

子どもたちはこの時期、毎朝のかけ足に取り組んでいます。開始時刻より早く運動場に出て、みんなより多く走ろうと張り切っている姿も見受けられます。全校かけ足は、本校の育てたい子ども像の一つ「しなやかでたくましい子」の実現につながる大事な行事です。25日には、秋晴れの下、実際に走るコースをみんなで確かめました。お家の人が、当日道ばたで見守ってくれることを、うれしそうに教えに来てくれる子どもたちもいました。

また、当日は本校の創立記念日でもあります。昭和37年4月、為川小学校と旧千代小学校区の味間・安部田の2大字が合併し、現在の東小学校が生まれました。学校のお誕生日を心でお祝いしながら、一人一人が自分の記録に挑戦し、走り抜きます。ぜひ、応援をお願いします。



職員等の配置についてどうぞよろしくをお願いします**

宮本 智史先生（なかよし学級）が、体調不良のため当面の間お休みをいただきます。その代替として、中谷 真澄先生が28日より着任されます。よろしくをお願いします。

